

手賀沼と鳥と絶景…白樺派の文人たちとも出会う場所



手賀沼公園

四季折々の風景は多くの文人を魅了し、現在も沼の畔は人々の憩いの場として、かけがえない財産となっています。子ども達が緑に囲まれて自由に遊べる広場には遊具や広い砂場があります。

・ミニSL…3月の春休みから11月までの土・日・祝日と夏休み期間中。
・レンタサイクル…3月の春休みから11月までの土・日・祝日。

★我孫子駅南口から徒歩10分  



鳥の博物館

「人と鳥の共存をめざして」をテーマに、わが国初めての鳥だけを扱った博物館です。「鳥とは一体どんな動物なのか」というテーマで科学的に捉えた展示、人と鳥が今後どう共存していけばよいかを考えるコーナーなど、地域の自然保護から地球環境問題まで踏み込んだ奥深い展示を行っています。

館内展示

★9:30~16:30 ★月曜・年末年始休館(月曜が祝日の場合、翌日に振替) ★大人300円 ★TEL.04-7185-2212  



高野山桃山公園

眼下にキラキラと水面を光らせる手賀沼が広がり、市内屈指の大パノラマが展開します。



古利根沼

利根川百景の一つである古利根沼は、明治末期、度重なる水害をなくすために利根川の改修工事が行われた結果、蛇行部分が残ってできた沼です。ありし日の利根川の姿や風情を今にとどめて、心をなごませてくれます。



志賀直哉邸跡 (市指定文化財)

柳宗悦の勧めで大正4年から12年まで我孫子に居住した志賀直哉。武者小路実篤や柳と交流しながら、代表作『和解』『暗夜行路』を書きました。その当時の書齋を復元しています。

- ★一般公開…毎週土曜・日曜(年末年始は除く)
- ★10:00~14:00(雨天は除く) ★無料
- ★我孫子駅南口から徒歩15分



杉村楚人冠記念館 (市指定文化財)

明治~昭和に活躍した国際的ジャーナリスト杉村楚人冠は、明治45年に我孫子に別荘を構え、大正13年以降はここに定住しました。和風と洋風の調和が大正ロマンを感じる館内には、楚人冠に関する展示もあります。

- ★9:00~16:30(入館は16:00まで) ★大人300円
- ★月曜・年末年始休館(月曜が祝日の場合、翌日に振替)
- ★我孫子駅南口から徒歩10分 TEL.04-7182-8578



我孫子市白樺文学館

大正時代、雑誌『白樺』同人の中核となった柳宗悦、志賀直哉、武者小路実篤が住み、彼らを取り巻くように多くの文人・画家が集まった我孫子。その白樺派の作家の原稿、書簡、書画や民芸運動に関わった人々の作品を展示しています。

- ★9:30~16:30 ★大人300円  
- ★月曜・年末年始休館(月曜が祝日の場合、翌日に振替)
- ★我孫子駅南口から徒歩14分 Tel.04-7169-8468



旧村川別荘 (市指定文化財)

東京帝国大学教授・村川堅固の別荘。江戸の造りが残る和風の母屋と、フローリングや出窓、床の間などもある和洋折衷で朝鮮風の新館は、西洋史の大家たる村川堅固の思想を感じさせます。

- ★一般公開…毎週水曜~月曜(年末年始は除く)
- ★9:00~16:00 ★無料  
- ★我孫子駅南口から徒歩25分